

スポーツ報知

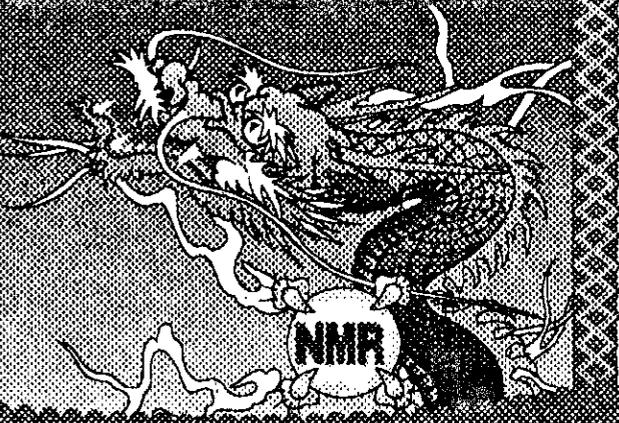
朝青龍化粧まわし図柄

本紙が独占入手

大相撲の新大関・朝青龍(21) 高砂

Ⅱが秋場所(9月8日初日・両国)で締める化粧まわしの図柄Ⅱ写真Ⅱを20日、スポーツ報知が独占入手した。朝青龍に見立てた昇り竜が描

大関 朝青龍



昇り竜で綱取りだ

かれ、大関以上から許される紫色を背景の色に使用。朝青龍は15日間土俵入りで締め、初の賜杯を狙う。

化粧まわしは親交のある日本システム企画

(総合機器メーカー)の熊野活行社長

ら、9月初旬に完成次第、贈呈される。熊野社長は日本モンゴル友好交流協会の会長でもあり、朝青龍に「兄貴」と慕われる存在。かねてから大関昇進後にプレゼントすることを約束していた。今月初旬の朝青龍のモンゴル帰国中にウランバートルで会い、この下絵を見せたら大喜びしたという。

昇り竜が4つの爪で持っている珠(たま)には、朝青龍が自宅で愛用している同社の給水管防さび装置のロゴがデザインされている。熊野社長は「これから大相撲の人気を盛り上げていき、親しい間柄として、ともに上昇していく願いを込めた」と説明。初のモンゴル人大関は、昇竜となって上を目指す。(甲斐 毅彦)